



働きものを、幸せものに。

**日総工産株式会社**

東証プライム市場 コード6569

2023年3月期 第3四半期

# 決算説明会資料

2023年2月9日

## 2023年3月期 第3四半期 実績

- 前年同期比で増収減益
- 営業利益は前年並まで回復
- 自動車関連の稼働は回復期に入るも部品不足の影響は継続、人材ニーズは堅調
- 電子デバイスのPC・通信機器関連の部品需要減少が継続
- 半導体はメモリ分野で需要が減少、車載向けは好調
- エンジニア系の在籍人数は順調に増加、売上高も前年同期比で増加

- 1** 2023年3月期 第3四半期 **決算概要**
- 2** 2023年3月期 第3四半期 **活動の概況**
- 3** **セグメント別業績について**
- 4** **今後の見通し(2023年3月期)**
- 5** **株主還元方針**
- 6** **補足資料**



**1**

## 2023年3月期 第3四半期 決算概要

(単位：百万円)

## ポイント

- 在籍人数の増加、請求単価上昇により増収。
- 新型コロナウイルス感染症の影響や、自動車関連での半導体不足等、部品不足による稼働減少（稼働日数、残業時間、休出時間等）の影響が残るも、稼働は緩やかに回復、2Q比で粗利が0.4ポイント改善。
- その他の事業（介護・福祉系サービス）は増収増益。

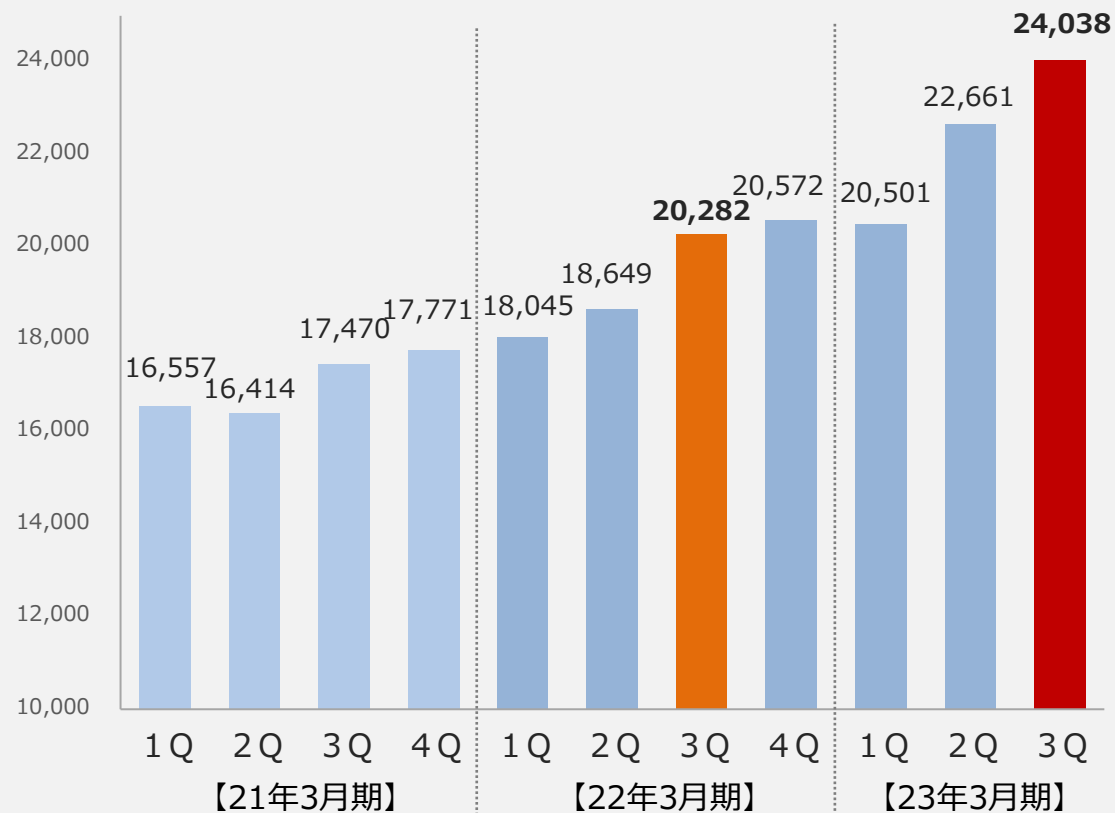
	22年3月期 第3四半期		23年3月期 第3四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	56,977	100.0%	67,201	100.0%	10,224	17.9%
売上総利益	9,493	16.7%	10,576	15.7%	1,082	11.4%
販管費	8,086	14.2%	9,177	13.7%	1,091	13.5%
営業利益	1,406	2.5%	1,398	2.1%	△ 8	△0.6%
経常利益	1,595	2.8%	1,501	2.2%	△ 94	△5.9%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,036	1.8%	937	1.4%	△ 98	△9.5%

# 2023年3月期 四半期単位の連結業績



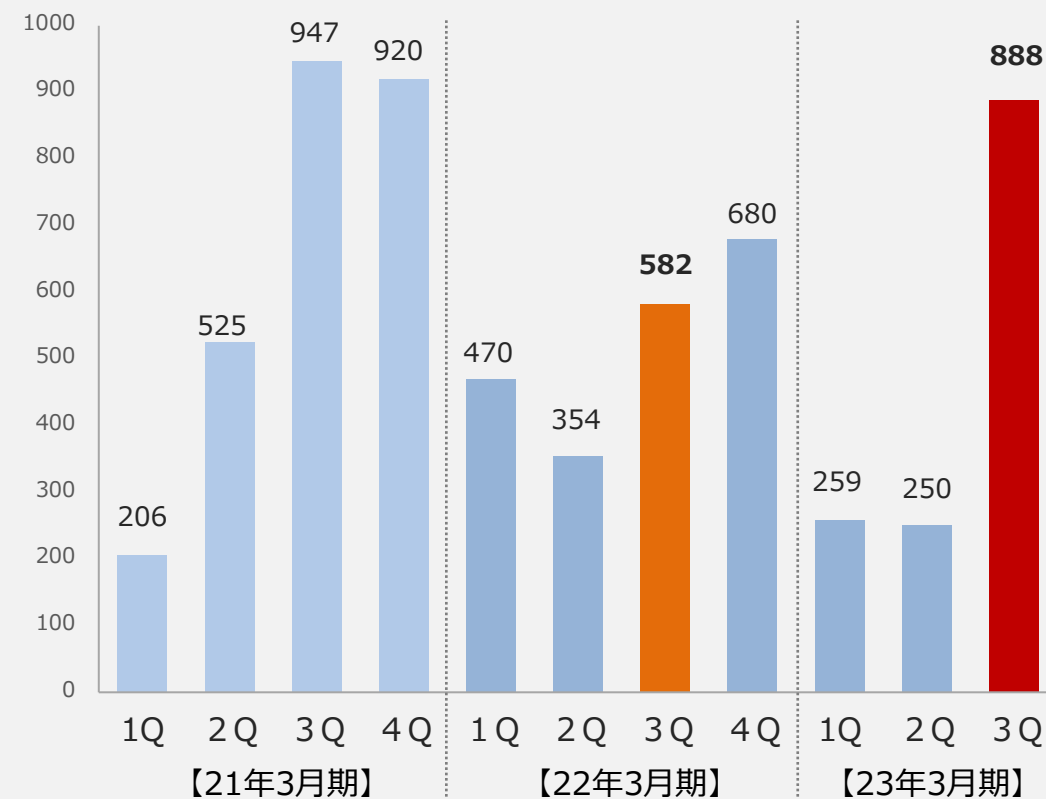
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



## 売上高について

売上高は、在籍人数の増加及び請求単価上昇により14.0%増加。

## 費用・利益面について

- 自動車関連での半導体不足等、部品不足による稼働減少（稼働日数、残業時間、休出時間等）の影響が残るも、稼働は緩やかに回復。
- 新型コロナウイルス感染症の影響や稼働減少の影響により、前年同期比で粗利が低下も、2Q比では0.5ポイント改善。
- 製造系人材ニーズは堅調。
- 採用への投資を効率的に実施し、3Q単体の販管費を抑制、販管費の比率も前年同期比で改善。

(単位：百万円)

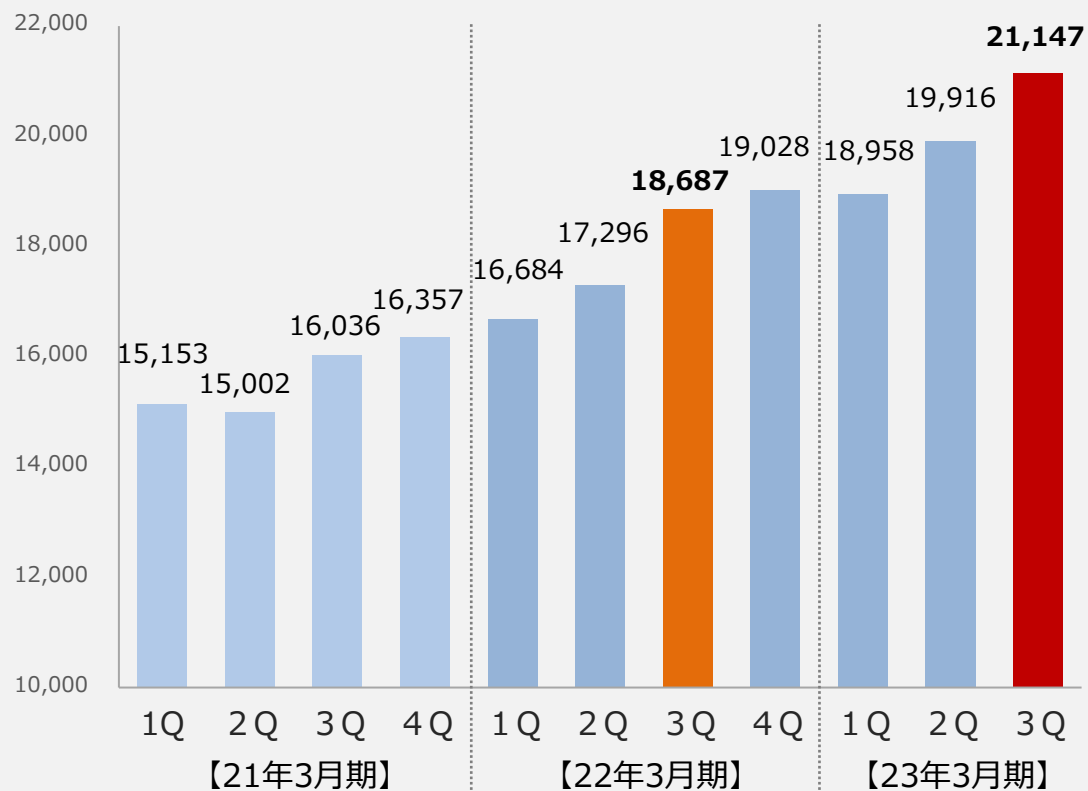
	22年3月期 第3四半期		23年3月期 第3四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	52,668	100.0%	60,022	100.0%	7,353	14.0%
売上総利益	9,048	17.2%	9,789	16.3%	741	8.2%
販管費	7,618	14.5%	8,389	14.0%	770	10.1%
営業利益	1,429	2.7%	1,399	2.3%	△29	△2.1%
経常利益	1,528	2.9%	1,492	2.5%	△35	△2.3%
四半期純利益	989	1.9%	960	1.6%	△29	△3.0%

# 2023年3月期 四半期単位の単体業績



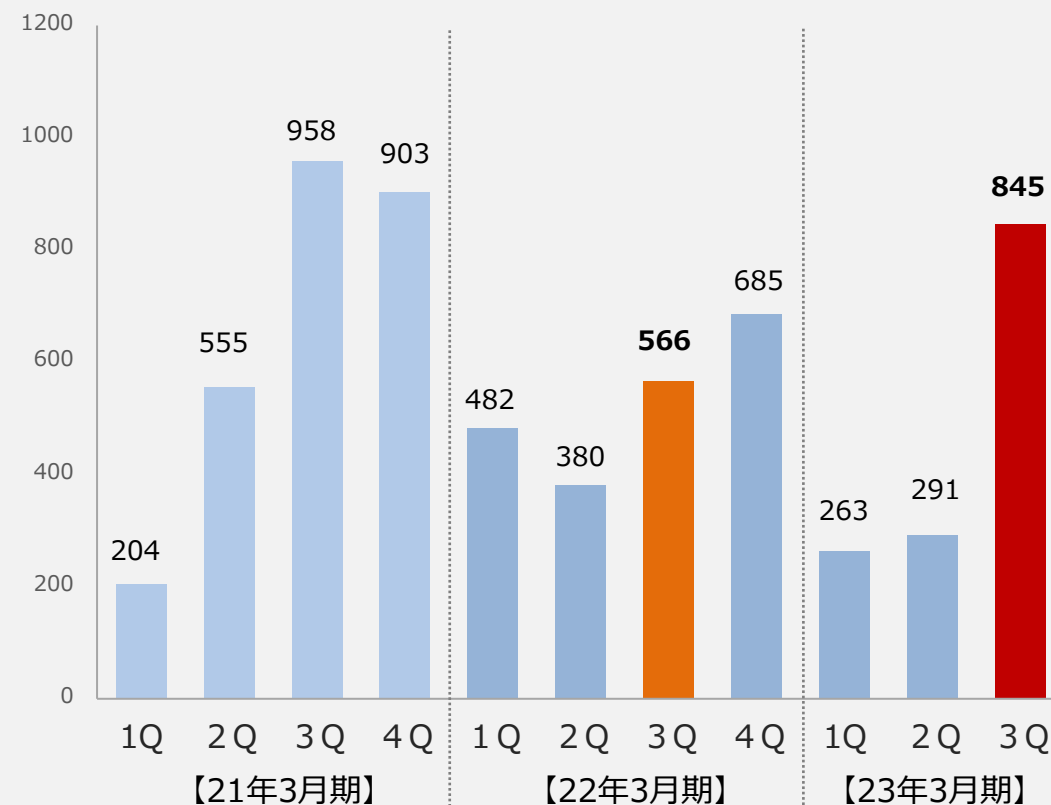
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)







**2**

## 2023年3月期 第3四半期 活動の概況

# 2023年3月期 第3四半期 業績サマリー



## 連結業績

売上高	<b>67,201百万円</b>	(前年同期比 10,224百万円 / 17.9%)
営業利益	<b>1,398百万円</b>	(前年同期比 △8百万円 / △0.6%)

## 単体業績

### ● 業種別売上高 (前年同期比)

自動車	…+16.0%
電子デバイス	…+15.4%

### ● 期末在籍者数

16,111名 (前期末比+1,166名)

### ● 一人当たり売上高/月

425 千円 (前年同期比+13千円)

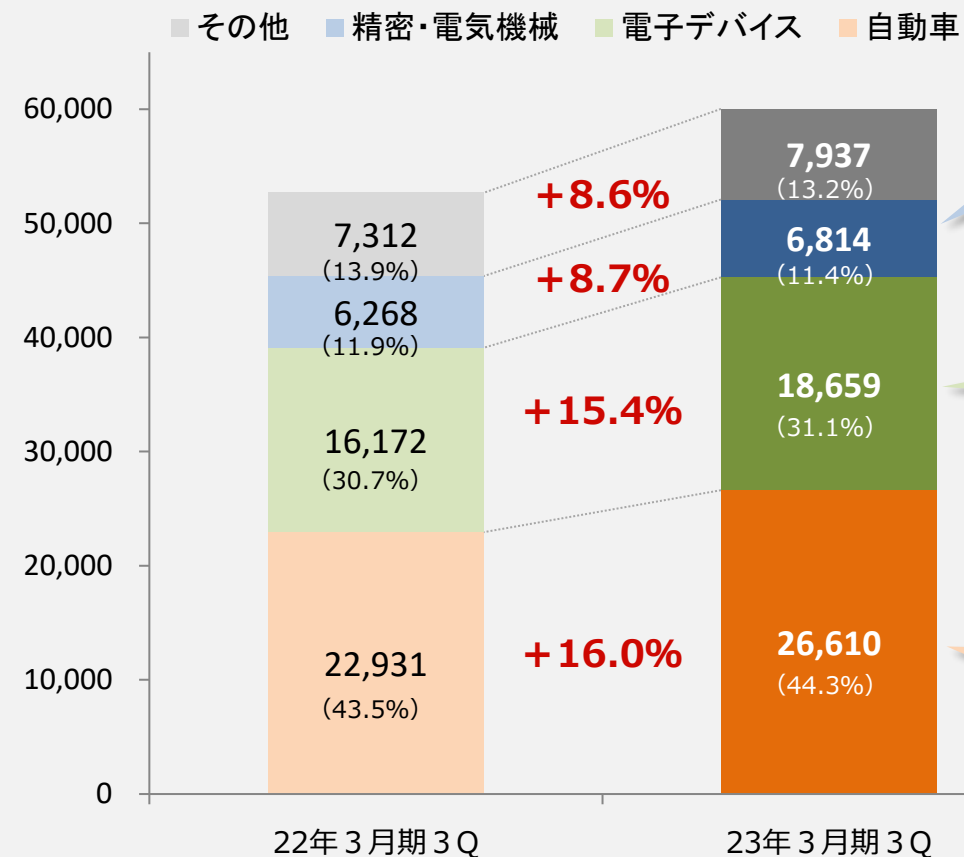
- ・自動車関連では、前年同期比で16.0%増加。部品不足による稼働減少の影響が残るも、稼働は緩やかに回復。在籍人数の増加、請求単価上昇もあり売上高は増加。
- ・電子デバイス関連では、前年同期比で15.4%増加。PC・通信機器関連に加え、一部の半導体需要が減少も、在籍人数の増加、請求単価上昇もあり売上高は増加。

- ・在籍人数は、前期末比で1,166名増加。人材ニーズが高い自動車を中心に在籍人数が増加。

- ・一人当たりの売上高は、前年同期比で13千円増加。請求単価の上昇、自動車関連での稼働の緩やかな回復もあり増加。

## 売上高構成比

（単位：百万円）



※（ ）内%は全売上高比、赤字の%は、前期比伸長率

### 【精密・電気機械】

前年同期比で8.7%増加。在籍人数の増加もあり売上高は増加。

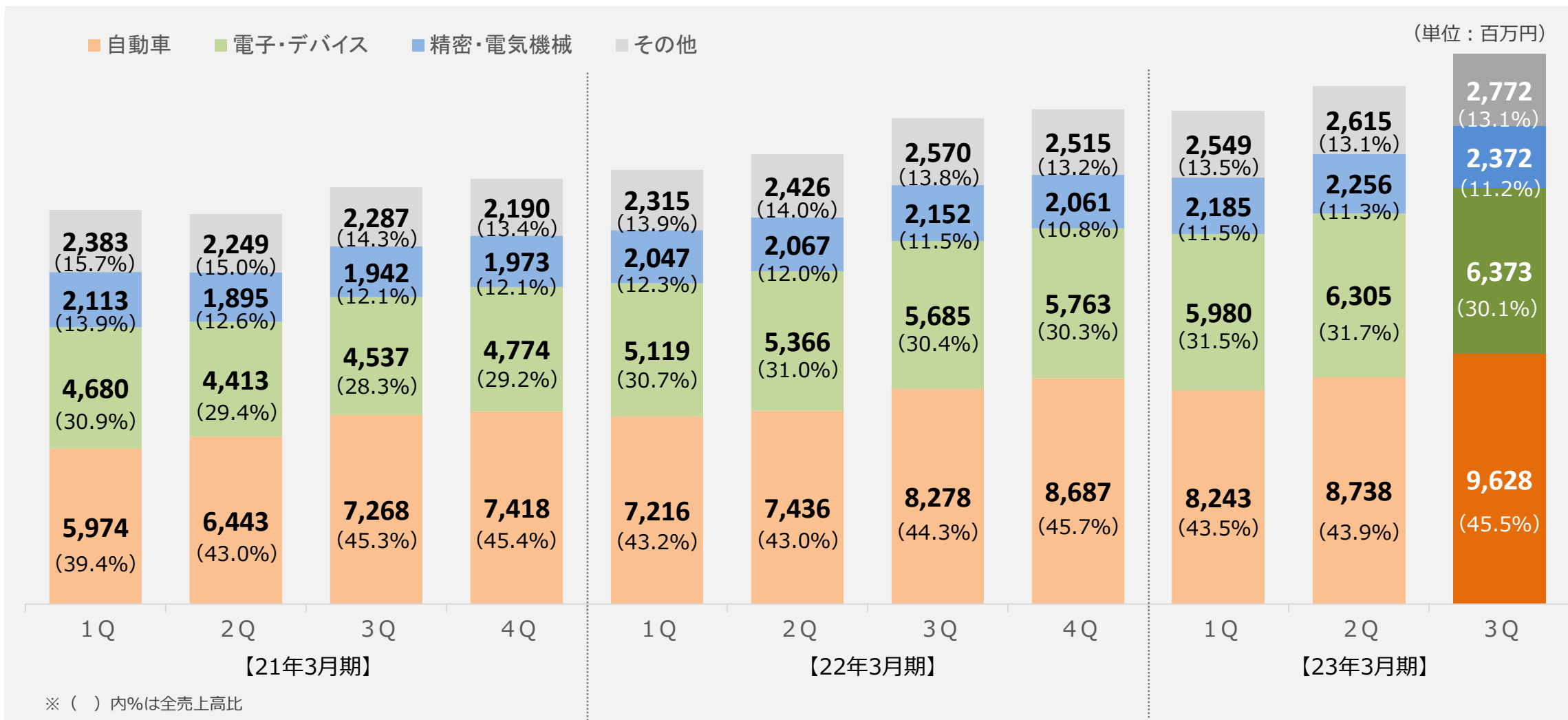
### 【電子デバイス】

前年同期比で15.4%増加。PC・通信機器関連に加え、一部の半導体需要が減少も、在籍人数の増加、請求単価の上昇等もあり、3Qの売上高は上場来、過去最高を更新。

### 【自動車】

前年同期比で16.0%増加。部品不足等による稼働減少（稼働日数、残業時間、休出時間等）の影響が残るも、稼働は緩やかに回復。在籍人数の増加、請求単価の上昇もあり3Qの売上高は上場来、過去最高を更新。

# 2023年3月期 四半期単位業種別売上高（単体）



# アカウント企業について（単体）

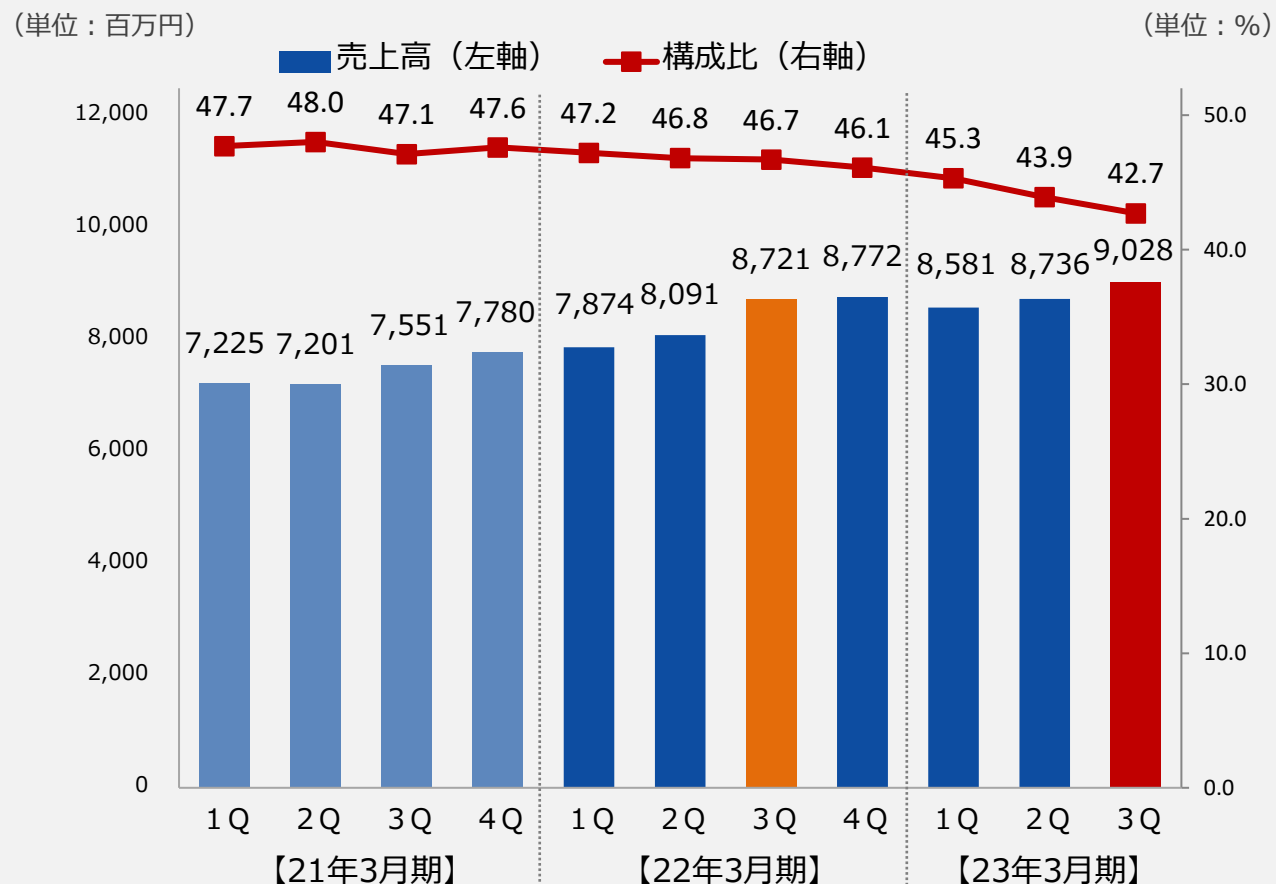
## ポイント①

アカウント企業グループの3Qとしての売上高は、上場来、過去最高を更新。

## ポイント②

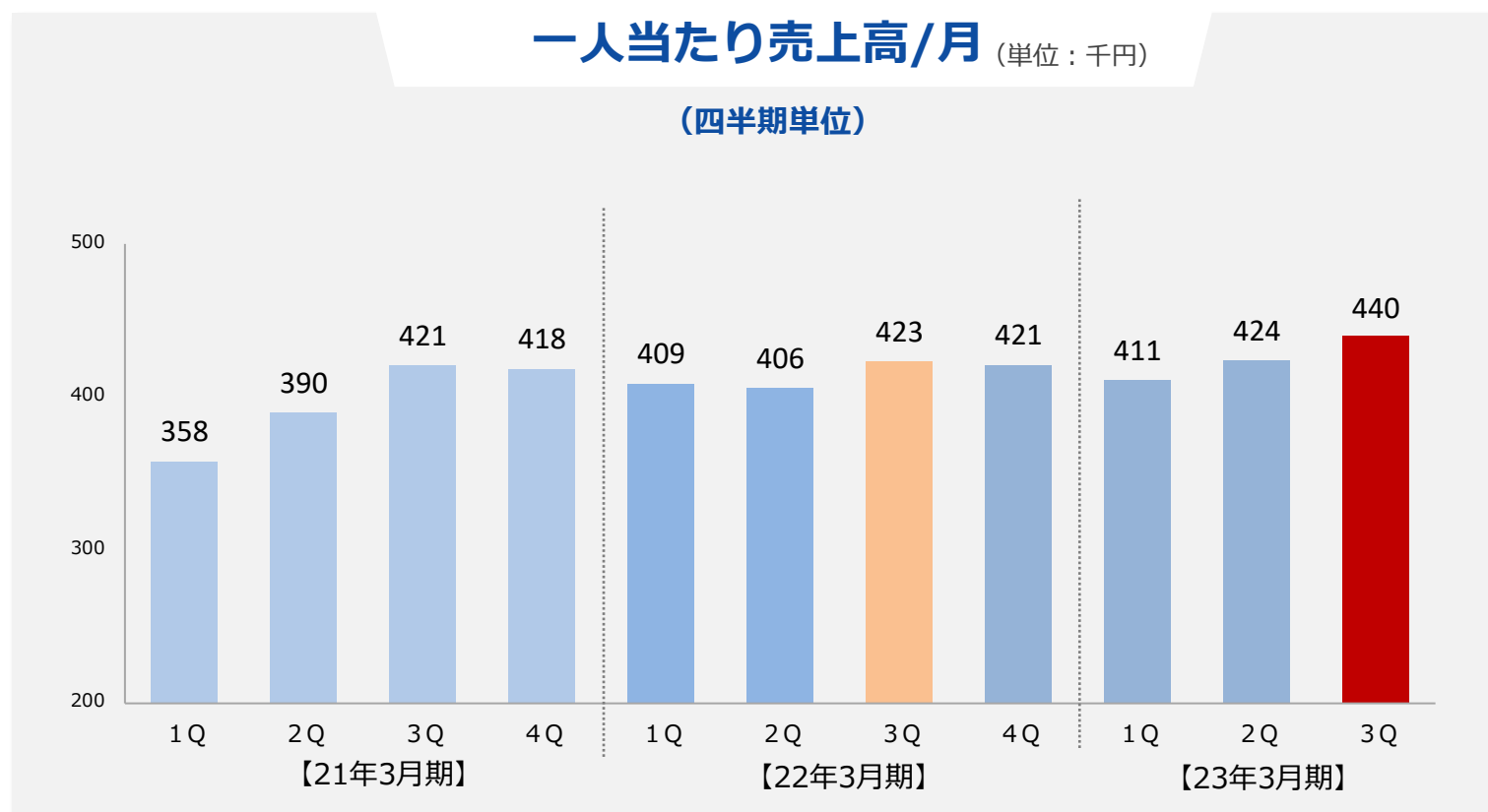
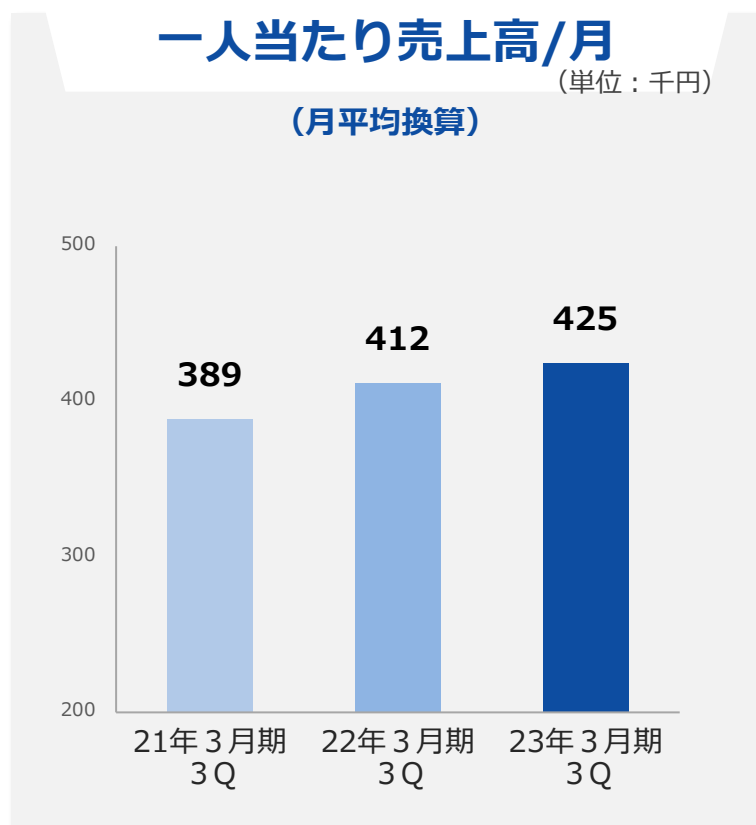
- 自動車系企業グループでは、半導体不足等、部品不足による稼働（稼働日数、残業時間、休出時間等）減少の影響が残るも、稼働は緩やかに回復、売上高は増加。
- 電子デバイス系企業グループでのPC、携帯端末需要の減少に加え、一部の半導体需要減少もあり、売上高の伸びは鈍化、構成比は前年同期比で減少。

## アカウント企業グループ売上高



# 一人当たり売上高/月（単体）

- 2023年3月期 3Q累計 <全社> 一人当たり売上高 425/月 千円（前年同期比 +13千円）
- 一人当たりの売上高は、請求単価の上昇、自動車関連での稼働の緩やかな回復もあり前年同期比で増加。



# 在籍人数（単体）

## 前期末比

+1,166名（+7.8%）

## ポイント①

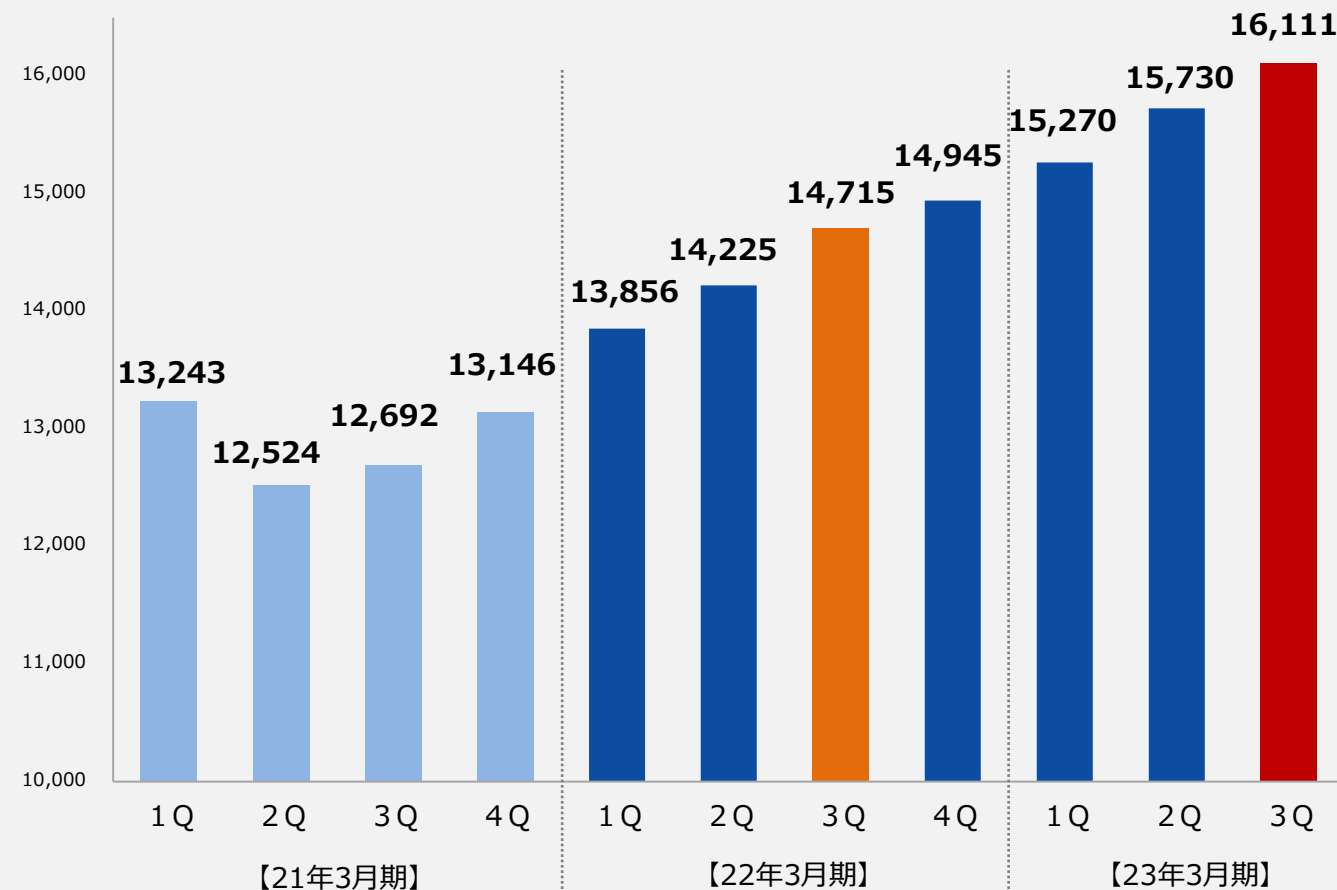
製造系人材ニーズは、自動車を中心に堅調、在籍人数は順調に増加。

## ポイント②

在籍人数は上場来、過去最高を更新。

## 期末在籍人数

（単位：名）



# 教育実績（単体）

## ポイント①

エンジニアの順調な増加もあり、エンジニア教育の受講者数が前年同期比で増加。

## ポイント②

一部の半導体需要減少もあり、設備保全基礎教育の受講者数が前年同期比で微減。

### ● 2023年3月期 第3四半期 主要なコース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

研修名	内容	22年3月期 3Q (10月～12月)	23年3月期 3Q (10月～12月)	対前年同期比 増減数
設備保全基礎教育	設備保全基礎教育	100	97	△3
エンジニア教育	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 SEAJ教育 (半導体に特化した安全教育)	158	234	+76
製造教育	ものづくり教育 製造スタッフ配属前実習 移動教育等	1,419	1,604	+185
	<b>合 計</b>	<b>1,677</b>	<b>1,935</b>	<b>+258</b>



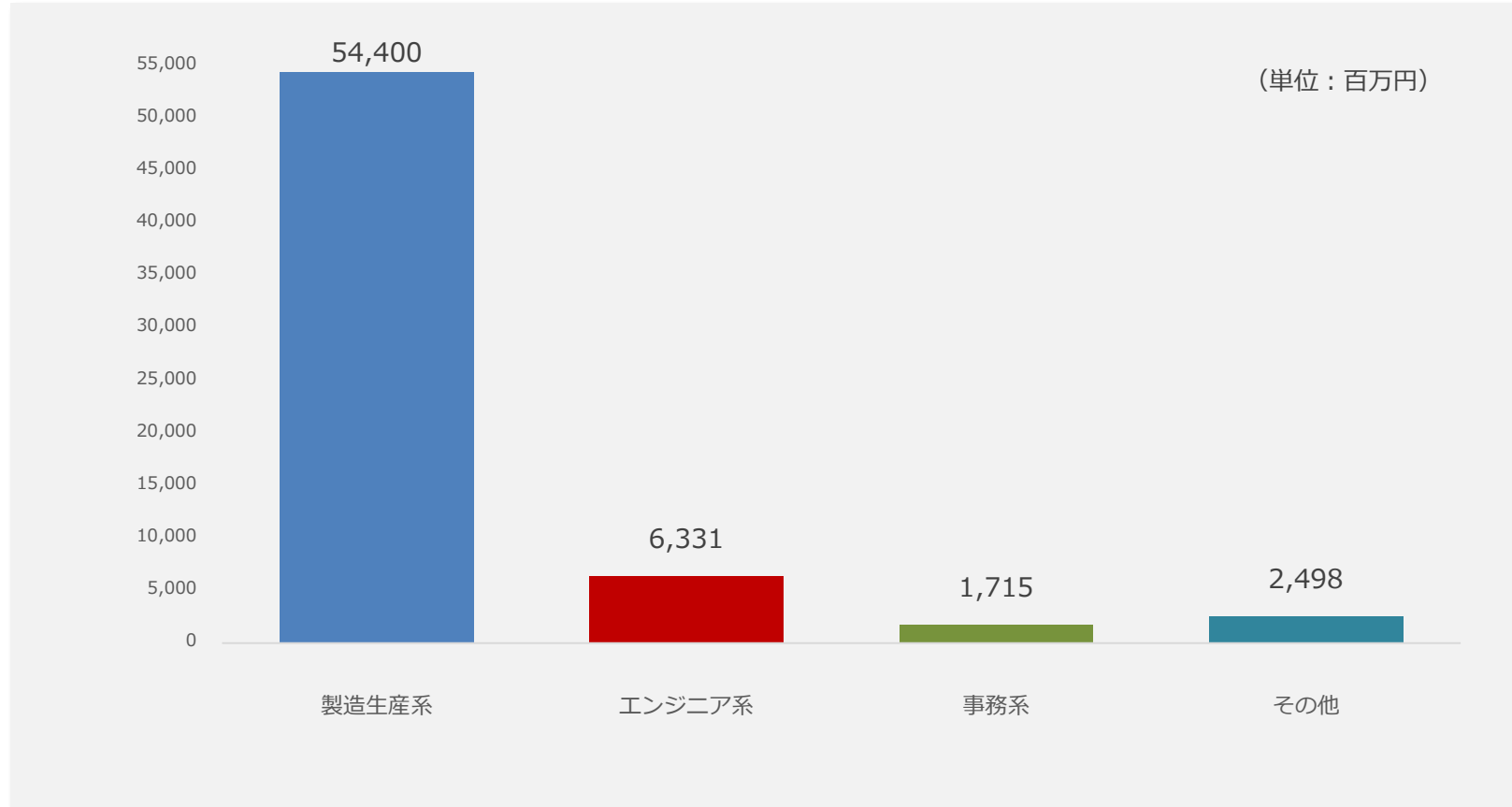


## 3 セグメント別業績について (2023年3月期 第3四半期)

# セグメント（サービス）別売上高



2023年3月期 第3四半期  
総合人材サービス事業



2023年3月期 第3四半期  
その他の事業



# 製造生産系人材サービスについて



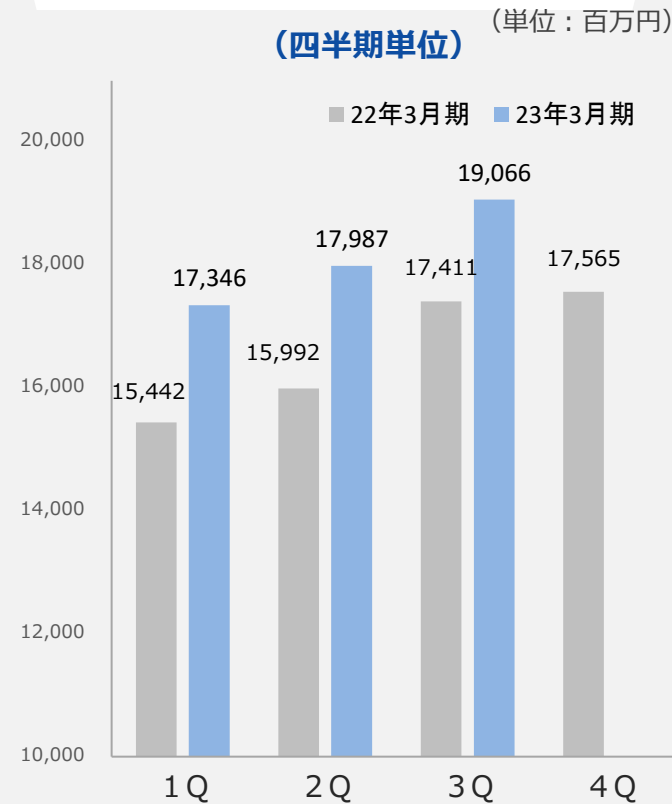
## 売上高について

3Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加、請求単価上昇もあり、前年同期比で9.5%増加。

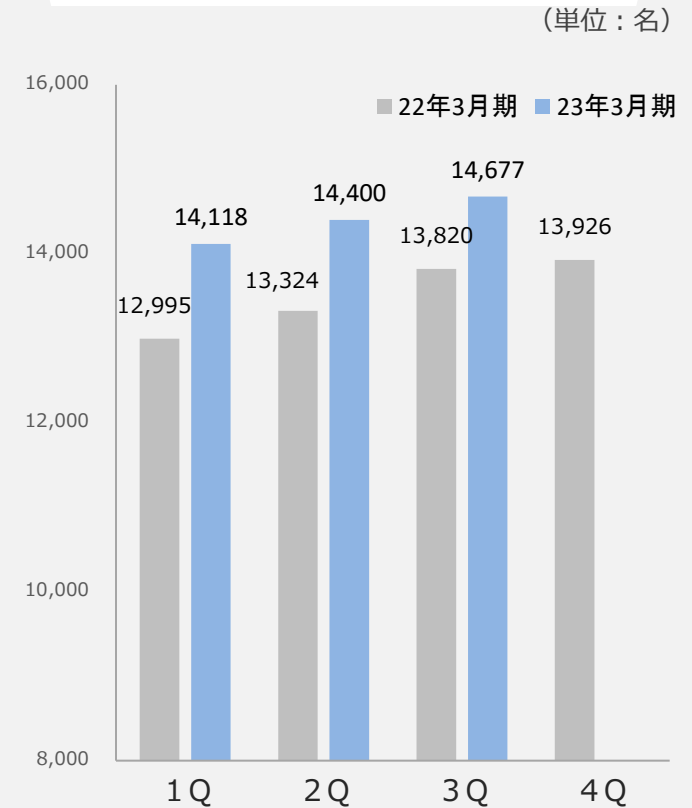
## 在籍人数について

製造生産系の在籍人数は、前年同期比で857名増加。製造系人材ニーズは堅調、離職率の改善もあり在籍人数は増加。

### 製造生産系 売上高



### 製造生産系 期末在籍人数



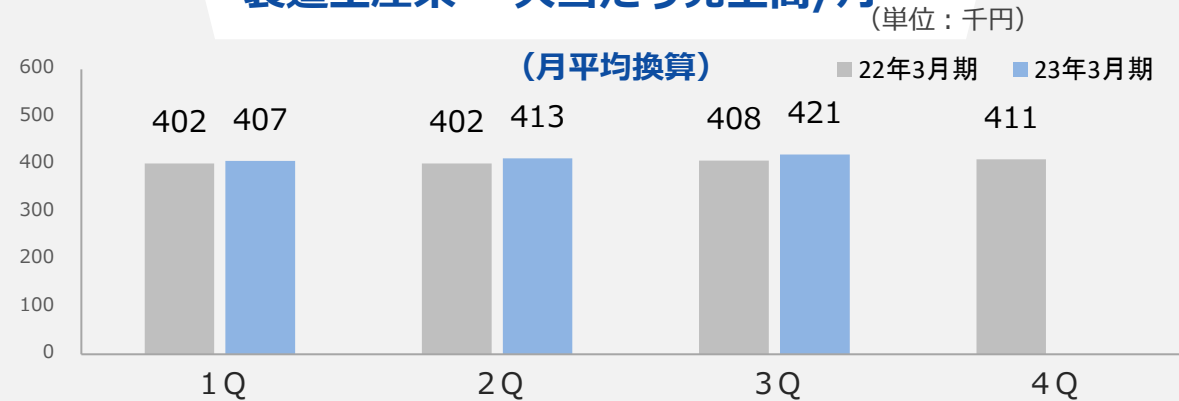
# 製造生産系人材サービスについて



## 一人当たりの売上高/月について

製造生産系の一人当たりの売上高は、前年同期比で3.1%増加。

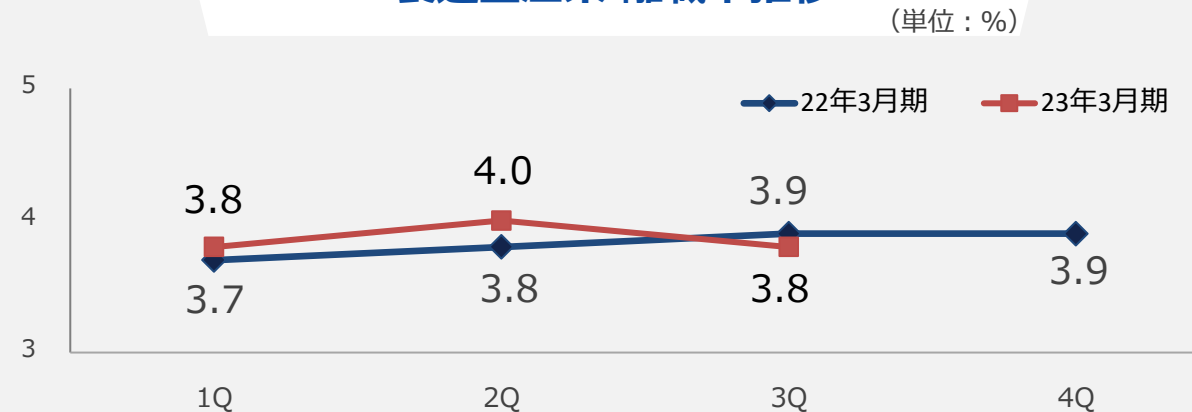
### 製造生産系 一人当たり売上高/月



## 離職率について

製造生産系の離職率は、前年同期比で0.1ポイント改善、4%未満に良化。

### 製造生産系 離職率推移



# エンジニア系人材サービスについて



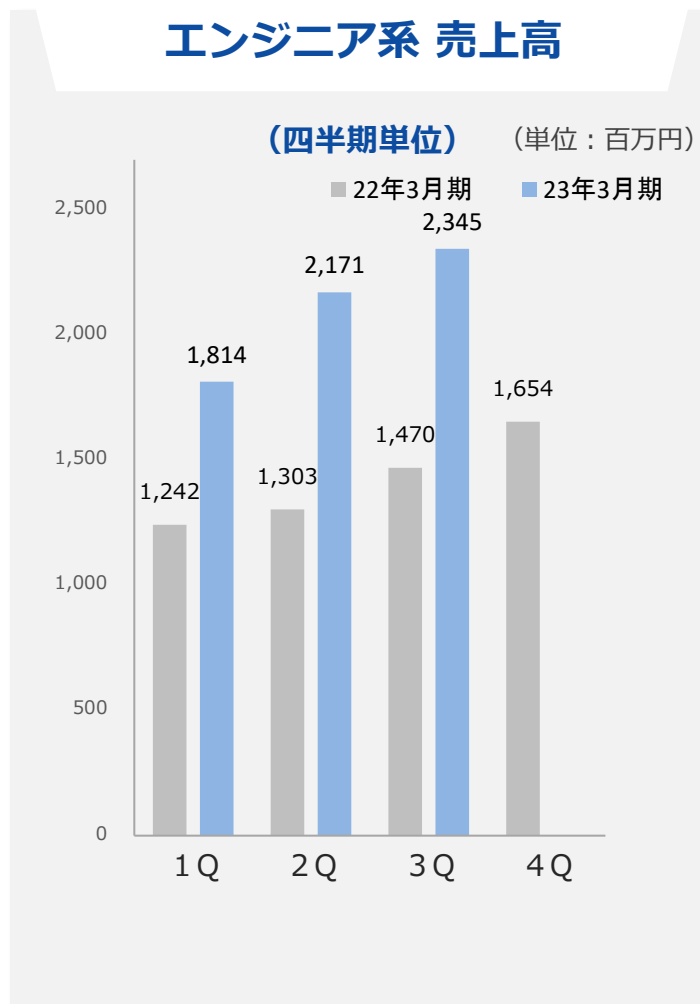
## 売上高について

3Qのエンジニア系の売上高は、前年同期比で59.5%増加。

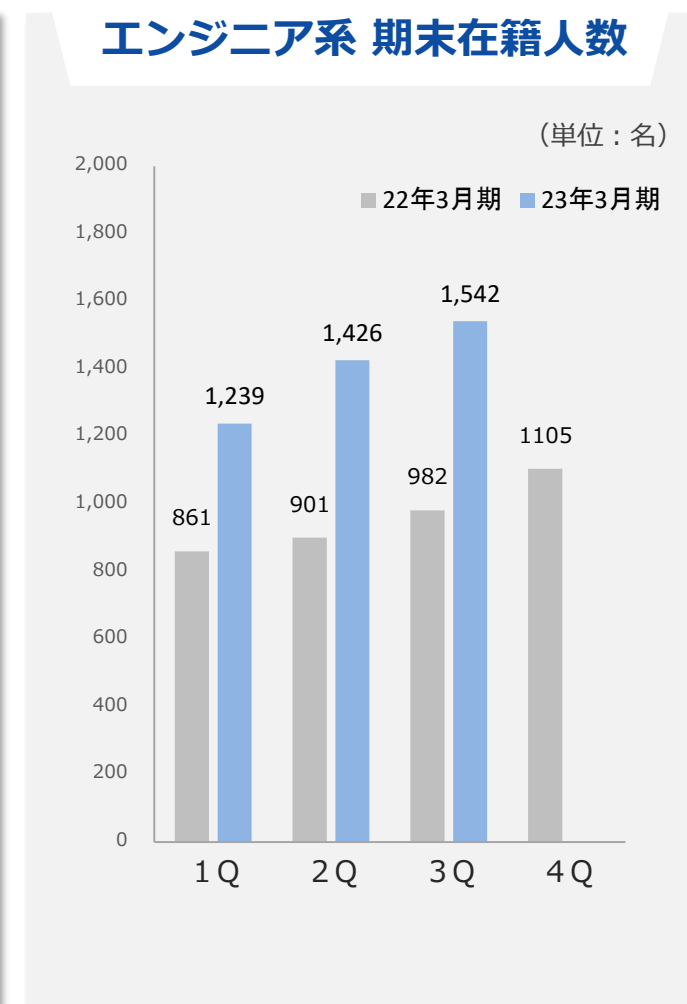
## 在籍人数について

エンジニア系の在籍人数は、前年同期比で560名増加。エンジニアへのキャリアチェンジ推進、新規採用強化を継続、在籍数が増加。

### エンジニア系 売上高



### エンジニア系 期末在籍人数



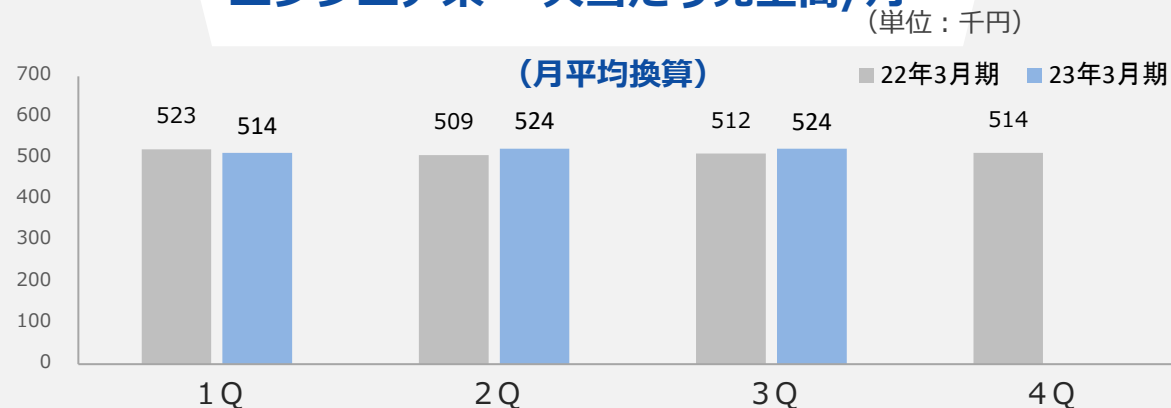
# エンジニア系人材サービスについて



## 一人当たりの売上高/月について

エンジニア系の一人当たりの売上高は、前年同期比で2.2%増加。

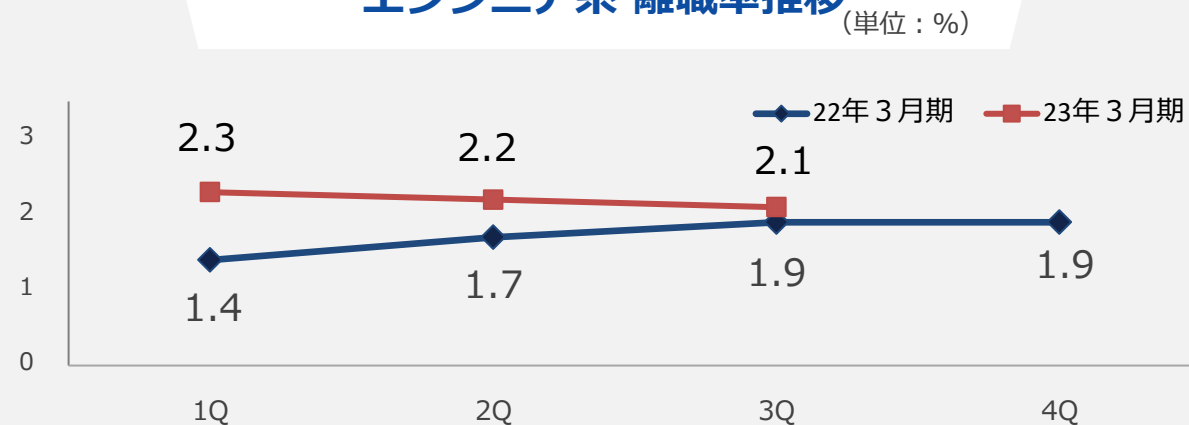
### エンジニア系 一人当たり売上高/月



## 離職率について

エンジニア系の離職率は、前年同期比で0.2ポイント低下も、今期1Q以降、良化傾向が継続。

### エンジニア系 離職率推移



# エンジニア系人材サービスの成長に向けて

## 【半導体分野】

### 熊本研修センター開所について

半導体関連企業の人材不足に対応すべく、熊本県に研修センターを開所する計画を発表、2023年4月の開所を予定しております。

地域社会、半導体関連メーカー、当社研修センターとの連携を高め、高付加価値人材の育成を目指します。



### 中国地域半導体関連産業振興協議会への参画について

当社は、東北経済産業局の「東北半導体・エレクトロニクスデザイン研究会」に続き、中国地域半導体関連産業振興協議会に参画することとなりました。

URL: [https://www.nisso.co.jp/news/chuugokukeizaisangyoukyoku\\_1/](https://www.nisso.co.jp/news/chuugokukeizaisangyoukyoku_1/)

## 【エンジニア分野】

### インターステラテクノロジズ株式会社とパートナーシップ協定締結

「誰もが宇宙に手が届く未来をつくる」というビジョンを掲げ、北海道広尾郡大樹町に本社をおくロケット開発ベンチャー企業、インターステラテクノロジズ株式会社と人材活用でのパートナーシップ協定を締結。2040年に100兆円を超えると予測される宇宙産業に貢献してまいります。

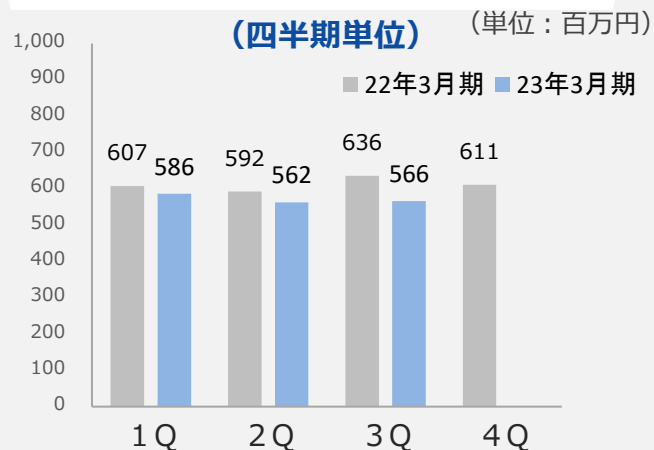


# 事務系・その他の人材サービスについて

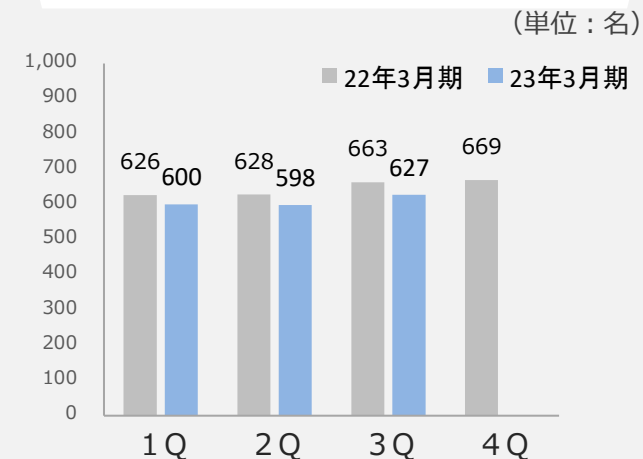
## 事務系人材サービスについて

3Qの事務系の売上高は、前年同期比で在籍人数が減少、売上高は11.0%減少。

### 事務系 売上高



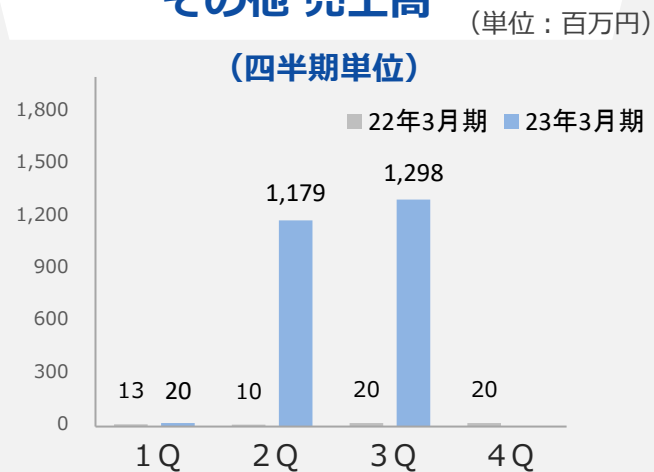
### 事務系 期末在籍人数



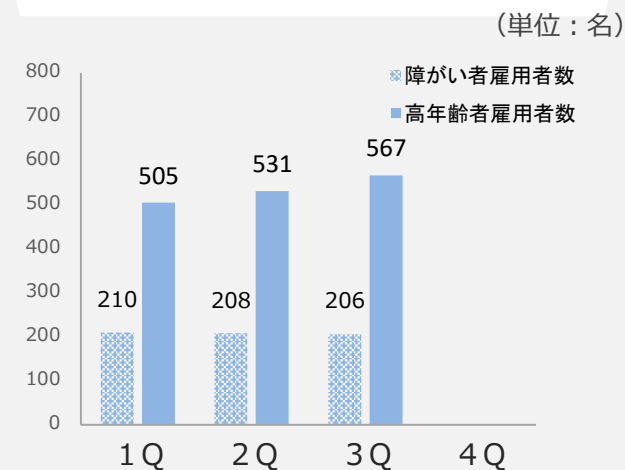
## その他の人材サービスについて

- ・株式会社ニコン日総プライムでは、高年齢者社員が活躍できるモデルを構築中。
- ・日総ぴゅあ株式会社では、障がい者社員が活躍できるモデルを構築中。

### その他 売上高



### 高年齢者・障がい者在籍人数





# 介護・福祉系サービスについて

## ポイント

- 介護施設全体の入居率は、90%を超えて維持。
- 売上高は、前年同期比で1.4%の増収。

## ●介護・福祉系サービス実績

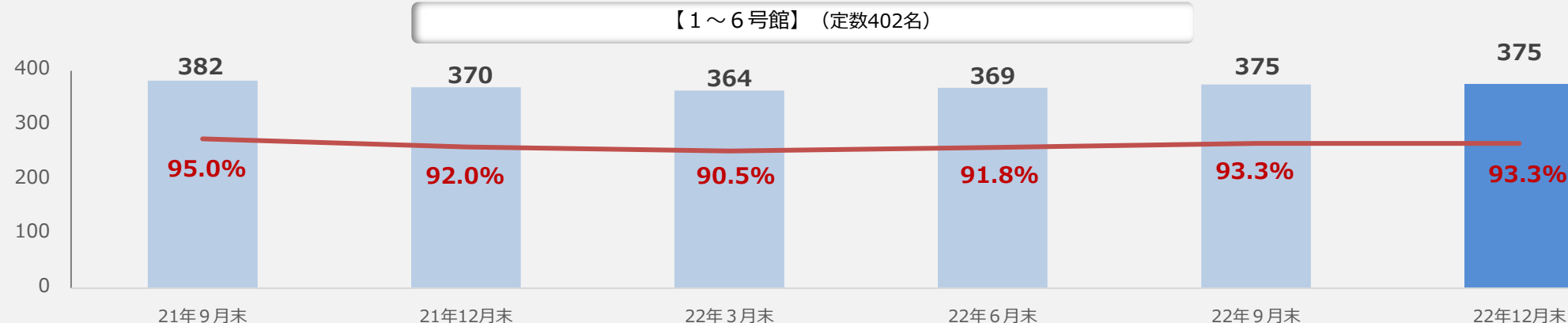
(単位：百万円)

	22年3月期 第3四半期	23年3月期 第3四半期	対前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	2,240	2,271	31	1.4%

## 施設入居者数

(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



## 持株会社体制への移行を検討開始

技術革新やグローバル化に伴い、顧客や労働者のニーズは多様化し、またSociety5.0の進展など当社グループを取り巻く経営環境は急速に変化をしております。このような経営環境の変化に柔軟に対応し、持続的な成長を実現するため、より一層の経営の効率化を目指したグループ体制に再構築する事が必要であると考え、持株会社体制へ移行する検討を開始しました。

持株会社体制への移行時期につきましては、2023年度中を目途に実行することを基本的な方針とし、移行方法につきましては、最適な方法を今後検討していく予定です。

## 日総グループタグライン策定

日総工産株式会社を中心とした日総グループは、創業50年を超えて次の時代に向けて新たな日総グループブランドメッセージを策定しました。

〈日総グループブランドメッセージ〉

**働きものを、幸せものに。**

「働く」ことで自分の価値を見出し、成長し、希望や夢を実現していく、あたたかい“居場所”であり続けたいとの想いを込めたブランドメッセージです。新たなブランドメッセージにより、社会変化に対応した企業グループへと発展し、ステークホルダーの皆様へ、新たな価値を提供してまいります。



<https://www.nisso.co.jp/tagline/>

## 4 今後の見通し（2023年3月期）

---

# 2023年3月期 通期連結業績予想の修正



## 連結業績予想修正について

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表いたしました2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしました。  
 詳細につきましては、2023年2月6日に公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

### ■ 2023年3月期通期連結業績予想数値（2022年4月1日～2023年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想		今回修正予想		前回発表予想比	
	予想	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	88,600	100.0%	91,000	100.0%	2,400	2.7%
営業利益	2,700	3.0%	2,200	2.4%	△500	△18.5
経常利益	2,700	3.0%	2,300	2.5%	△400	△14.8
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,800	2.0%	1,500	1.6%	△300	△16.7



## 5 株主還元方針

---

# 株主還元方針

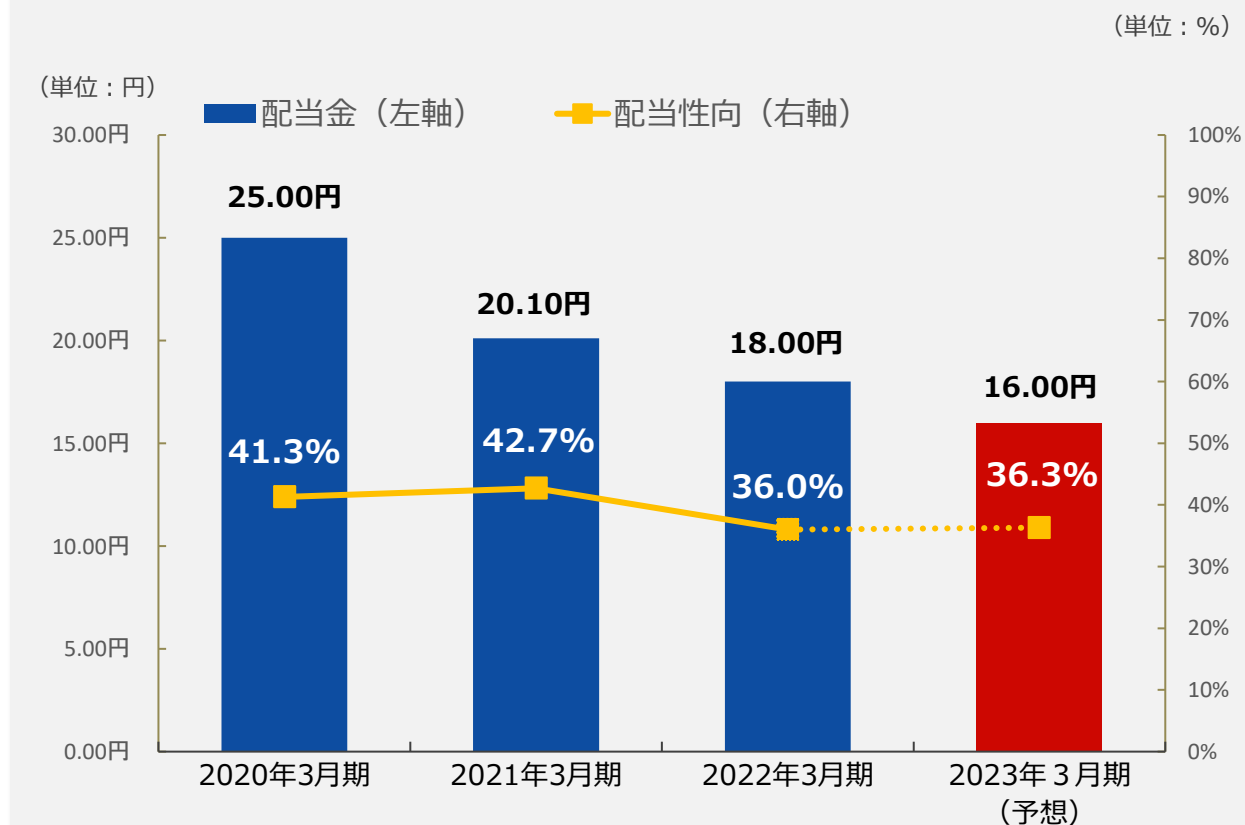
## 基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

## 2023年3月期の配当予想

業績予想の修正をいたしました。一株当たり配当予想額（16.00円）は据え置きとしております。  
これにより配当性向は36.3%になります。

## 配当金と配当性向



※2021年3月期の配当金には、創業50年記念配当5円00銭を含んでおります。

## 6 補足資料

# 連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	22年3月末		22年12月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	<b>19,068</b>	<b>69.4</b>	<b>21,042</b>	<b>72.3</b>	<b>1,974</b>
現金及び預金	8,779	32.0	8,819	30.3	39
受取手形及び売掛金	9,390	34.2	11,073	38.1	1,682
<b>固定資産</b>	<b>8,394</b>	<b>30.6</b>	<b>8,057</b>	<b>27.7</b>	<b>△337</b>
有形固定資産	4,578	16.7	4,577	15.7	△0
無形固定資産	1,667	6.1	1,535	5.3	△131
投資その他の資産	2,149	7.8	1,944	6.7	△205
<b>資産合計</b>	<b>27,462</b>	<b>100.0</b>	<b>29,100</b>	<b>100.0</b>	<b>1,637</b>
<b>流動負債</b>	<b>10,411</b>	<b>37.9</b>	<b>11,721</b>	<b>40.3</b>	<b>1,310</b>
未払費用	5,381	19.6	6,445	22.2	1,064
未払法人税等	395	1.4	129	0.4	△265
賞与引当金	1,058	3.9	732	2.5	△326
<b>固定負債</b>	<b>3,492</b>	<b>12.7</b>	<b>3,236</b>	<b>11.1</b>	<b>△255</b>
長期借入金	2,509	9.1	2,141	7.4	△367
<b>負債合計</b>	<b>13,903</b>	<b>50.6</b>	<b>14,958</b>	<b>51.4</b>	<b>1,054</b>
<b>株主資本</b>	<b>13,540</b>	<b>49.3</b>	<b>13,878</b>	<b>47.7</b>	<b>337</b>
非支配株主持分	-	-	242	0.8	242
<b>純資産合計</b>	<b>13,559</b>	<b>49.4</b>	<b>14,141</b>	<b>48.6</b>	<b>582</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>27,462</b>	<b>100.0</b>	<b>29,100</b>	<b>100.0</b>	<b>1,637</b>

## Point

### ①稼働人数拡大による増加

製造系人材サービスの稼働人数拡大他により、流動資産の「受取手形及び売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加しました。

### ②企業結合

(株)ニコン日総プライムの子会社化により、資産及び負債が増加しました。

### ③全体

上記の結果、前期末比で資産合計が6.0%増加、負債合計が7.6%増加、純資産合計が4.3%増加となった結果、自己資本比率47.8%となりました。





働きものを、幸せものに。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

日総工産株式会社 広報・IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso.co.jp/>